

平成25年度  
十勝シーニックバイウェイ  
”トカプチ雄大空間”活動報告

1. ルート運営活動計画の進捗状況
2. 活動団体の活動状況及び課題
3. ルート運営活動計画の推進体制の状況及び課題
4. ルート運営行政連絡会議の取組状況及び課題
5. 平成24年度活動報告への助言に対する状況報告

1. ルート運営活動計画の進捗状況

ルート名称:十勝シーニックバイウエイ トカプチ雄大空間	報告者:十勝シーニックバイウエイ トカプチ雄大空間 代表 野村 文吾	報告年月日:2014/3/31
-----------------------------	------------------------------------	-----------------

	ルート(エリア)運営活動計画方針	ルート(エリア)運営活動計画活動内容	No	活動名	主催	活動実施日	参加人数	活動状況資料番号	総括
景観	五感と感動で楽しむ場所を提供するため、美しい景観の発掘と、景観阻害要因となる看板の撤去等の整備、雄大な景観デッキの整備、年間を通して豊かな時間を過ごすカフェの整備を進める。また、十勝シーニックバイウエイ3ルートが連携し、巡る楽しみを創出する。	連携・体験事業	1	人と未来をつなぐ100年の木プロジェクト事業	シーニックバイウエイ&ガーデン街道 美しい北海道景観を育てる会	平成25年4月～平成26年3月 ※平成25年6月1日植樹祭	主催者:60名程度 一般参加者:20名程度	—	北海道ガーデン街道、十勝シーニックバイウエイ3ルート、大雪・富良野ルートとの連携で次世代に良い景観を継承していくための植樹や景観保全の連携事業を実施。民間企業との連携にも繋がり、今後も継続して実施していく予定である。
			2	十勝シーニックカフェスタンプラリー	十勝シーニックバイウエイ	平成25年7月1日～平成25年10月30日	応募36人(カフェ15箇所)	—	昨年に引き続き、シーニックカフェと道の駅、とかち帯広空港と連携してスタンプラリーを実施した。
地域	道外、国外に対して、観光・食・アクティビティ・環境などの情報を、自信を持って発信できる地域づくりを行う。そのために、ホスピタリティを向上させ、組織・団体の活動を活性化させるなど、地域間競争に打ち勝つための情報共有や地域住民との連携強化による人づくり・街づくりを推進する。さらに、それらを生かした十勝型産業の開発を目指す。	連携・体験事業	3	—	—	—	—	—	—
			4	—	—	—	—	—	—
陸・水・空・時の四次元ルートを完成させ、日本で有数の観光客を集客するために、基本となる十勝人の歴史や十勝のスイーツについて学び、ライフコンシェルジュの育成と女性プロジェクトを実践し、ルートの地域資源発掘に力を入れる。そして、これらを基に魅力あるモデルルートを設定し、新しいメディアを活用して広く情報発信を行う。更に、地域住民と観光客との双方向コミュニケーションを充実させていく。	連携・体験事業	連携・体験事業	5	とかちガーデン・スイーツ・温泉チケットでめぐる秋の十勝モニター調査	トカプチ雄大空間	平成25年10月5日(土)～6日(日)	主催者:5名程度 参加者:3組8名	—	「とかちガーデン・スイーツ・温泉チケット」の利用に関する調査を目的としてモニターツアーを実施。参加者へのモニターアンケート及び聞き取り調査を実施し、その結果から今後の商品化を検討していくこととしている。
			6	プロモーション活動・YOSAKOIソーラン祭り・北海道新聞花火大会・十勝毎日新聞花火大会・北海道ハイウェイShow	YOSAKOIソーラン祭り組織委員会、北海道新聞社、十勝毎日新聞社、NEXCO東日本		一般:各イベント500人以上 ルート:10人程度(各イベントでPR)	—	今年度は十勝管内の他、札幌圏でもオール十勝の観光PRを積極的に行った。ライフコンシェルジュのおもてなしは各イベントで好評だったことから、引き続き続けていく予定である。
			7	トカプチ情報ボックス事業	トカプチ雄大空間	平成25年4月～9月	エリア内17拠点	A - 4	トカプチ雄大空間エリア内の観光拠点にPRのため設置している「トカプチ情報ボックス(観光パンフレット設置ラック)」にルート内施設の観光パンフレットなどを期間中6回配布を行った。主に観光施設に設置しており、お客様からの需要も高いので、今後も実施していく予定である。
			8	トカプチマップ事業	トカプチ雄大空間	平成26年3月発行	主催者:5名程度	A - 3	昨年度に引き続き、エリア内の観光PRを含めた地図の作成を行った。今年度は、エリア内の各自治体の協力も頂き、1万8千部を印刷。エリア内、札幌市内を中心に配布予定。観光客からの地図の需要は高いので、プロモーションと合わせて今後も続けていく予定である。
			9	ライフコンシェルジュ育成事業 ※派遣イベントは下記の通り	トカプチ雄大空間	平成25年4月末～10月末	ライフコンシェルジュ(登録人数:34人)	A - 2	十勝の魅力・生活の楽しみを伝える「ライフコンシェルジュ」の育成事業の今年の大きな動きとして、十勝川温泉旅館組合の依頼より、期間中の土曜・日曜(10時～15時)に十勝ヶ丘展望台に2～3名39回の派遣を行い、大きな実績となった。その他、4つのガイド活動についてライフコンシェルジュの派遣を行うなど積極的に活動を実施した。今後は、この活動実績を活かし、ビジネス化に向けた事業として実施できるように検討していく。
			①十勝ヶ丘展望台ライフコンシェルジュ派遣事業	トカプチ雄大空間	平成25年4月27日～10月27日	ライフコンシェルジュ述68人を派遣			
			②帯広駅エスタ帯広東館1階西口観光ガイド	トカプチ雄大空間	平成25年7月13日～8月13日	ライフコンシェルジュ述べ16人派遣			
			③十勝の観光文化検定試験合格者限定視察バスツアー(ライフコンシェルジュ協力)	帯広商工会議所	平成25年7月13日(土)	ライフコンシェルジュ7名 一般参加者30名程度			

1. ルート運営活動計画の進捗状況

ルート名称:十勝シーニックバイウェイ トカプチ雄大空間	報告者:十勝シーニックバイウェイ トカプチ雄大空間 代表 野村 文吾	報告年月日:2014/3/31
-----------------------------	------------------------------------	-----------------

	ルート(エリア)運営活動計画方針	ルート(エリア)運営活動計画活動内容	No	活動名	主催	活動実施日	参加人数	活動状況資料番号	総括
				④とちまマルシェ・十勝観光案内所(ライフコンシェルジュ協力)	とちまマルシェ実行委員会	平成25年8月31日(土)~9月1日(日)	ライフコンシェルジュ16名派遣		
		販売促進事業	10	とちまガーデン・スイーツ・温泉チケット	トカプチ雄大空間	平成25年4月27日(土)~10月14日(日)	主催者:10名程度	A - 1	観光施設、市内ホテル、観光案内所等51箇所にてチケットの委託販売を実施した。平成25年度は、名称及び企画内容を一新した結果、JR北海道およびJTBの旅行商品に組み込みが決定し、販売枚数は昨年の6.3倍となった。来年度は利用施設を十勝全域に拡大し、定期的な収入になるよう、チケットの販売先を広げていく予定である。
環境	エコに関する啓蒙の推進、ゴミの削減による環境美化、カーボンオフセットの推進による環境の改善など、環境モデル都市・エリア実践のための連携を強化し、環境に関わる新産業による就業人口や移住・定住人口の増加を目指す。	連携・体験事業	11	イエローリボンプロジェクト	とちまイエローリボンプロジェクト実行委員会	平成25年5月~8月	主催者:3人程度 一般参加:40人程度	—	低炭素社会の推進、地域への取り組みの周知、観光振興事業として、今後は、継続して実施できるように活用の内容を見直しながら検討していく予定である。

# 十勝シーニックバイウェイ トカプチ雄大空間

TOKACHI Scenic Byway Tokapuchi Yudaikukan

活動名：とがちガーデン・スイーツ・温泉チケット事業

【概要】今年度で4年目の事業となるトカプチ雄大空間内の施設をお得にめぐる「とがちガーデン・スイーツ・温泉チケット」（1,300円）を販売した観光施設やビジネスホテルなど、道内52か所で販売箇所を拡大し、委託販売とともに相互の施設においてPR活動を実施した。

また、今年度は名称及び企画内容を一新した結果、旅行エージェントの旅行商品に組み込まれるなど販売促進につながった。次年度は利用施設を十勝全域に拡大し、今後も関係施設や旅行エージェントに売り込みを行って定期的な収入になるよう、販売先を広げていく。

【実施期間】平成25年4月27日（土）～10月14日（祝）

※販売期間 平成25年4月22日（月）～10月14日（祝）

【対応施設エリア】トカプチ雄大空間エリア

【主催】十勝シーニックバイウェイ トカプチ雄大空間

【販売枚数】2,049枚（利用率80.8%）

チラシ(表)



(裏)



## ●チケット概要

ガーデン施設入園・スイーツ引替・温泉日帰り入浴が選べる共通チケット3枚+ばんえい十勝無料クーポンがついたお得なチケット。

## ●チケット対応施設

【ばんえい競馬】ばんえい十勝(帯広競馬場)

【ガーデン施設】真鍋庭園・紫竹ガーデン・十勝ヒルズ

【スイーツ施設】北の屋台・紫竹ガーデン・十勝テッポ工房・とがち物産センター・とがちむら産直市場・とがちむら紫竹ガーデンカフェ・柳月スイートピアガーデン・和食と焼肉の店すず喜・焼肉KAGURA・国民宿舎新嵐山荘・ゆめ広場呼路歩来・十勝ヒルズ・NEEDS・ワイン城・まきぼの家・道の駅ステラ★ほんべつ

【温泉施設】十勝川温泉 笹井ホテル・観月苑・ホテル大平原・第一ホテル



# 十勝シーニックバイウェイ トカプチ雄大空間

TOKACHI Scenic Byway Tokapuchi Yudaikukan

活動名：ライフコンシェルジュ育成事業

【概要】 十勝の魅力・生活の楽しみを伝える「ライフコンシェルジュ」の育成事業の今年の大きな動きとして、十勝川温泉にある「十勝ヶ丘展望台のシーニックカフェ」に2～3名39回の派遣を行い、十勝の観光情報を伝える活動を行った。その他、今年度は帯広駅構内において派遣を行い観光案内ガイドとして活躍するなど積極的に十勝の観光情報を伝える活動を実施した。今後は、この活動実績を活かし、ビジネスモデル化を目指す。

【活動期間】 平成25年4月～10月末

【場所】 十勝管内にて活動を実施

【主催】 十勝シーニックバイウェイ トカプチ雄大空間

【登録人数】 ライフコンシェルジュ：34名 派遣先は以下の通り

- ①十勝ヶ丘展望台シーニックカフェ（計39回 68名） / ②帯広駅エスタ帯広東館1階西口（新規）（計11回 16名）  
③十勝の観光文化検定試験合格者限定視察バスツアー（7名） / ④とかちマルシェ・十勝観光案内所（16名）



帯広駅エスタ帯広東館でのガイド活動



とかちマルシェでのガイド

**LIFE+CONCIERGE**  
十勝の魅力・生活の楽しみ方を伝える人  
ご当地風土アドバイザー

地元の豊かさを自ら感じ楽しむ

地元の生活スタイルを伝える

親まれ親身になれる人間性

ひと=癒し

ライフコンシェルジュとは

**Tokapuchi**  
「食」と「癒し」で大地をつなぐ  
十勝シーニックバイウェイ  
トカプチ雄大空間

# 十勝シーニックバイウェイ トカプチ雄大空間

TOKACHI Scenic Byway Tokapuchi Yudaikukan

活動名：トカプチマップ事業

【概要】昨年度に引き続き、エリア内のおすすめドライブルートの紹介や観光PRを含めたマップを作成した。今後は観光拠点を中心に配布を行う予定。観光客からのマップの需要は高いことから、今後も観光プロモーションと合わせて続けていく。

【発行】平成26年3月

【主催】十勝シーニックバイウェイ トカプチ雄大空間

【マップ仕様】印刷部数：18,000部 サイズ：B1（折りたたんでB5）

配布箇所：ルート団体施設ほかエリア内の観光施設、札幌市内など



<トカプチ雄大空間ルートMAP 抜粋>

# 十勝シーニックバイウェイ トカプチ雄大空間

TOKACHI Scenic Byway Tokapuchi Yudaikukan

活動名：トカプチ情報ボックス事業

## 【概要】

トカプチ雄大空間エリア内の各情報拠点に設置している「トカプチ情報ボックス」にルート内施設の観光パンフレットなどを設置している。

主に観光施設に設置しており、お客様の要望も高いことから、今後も実施をしていく。

【実施時期】平成25年4月～9月

【設置箇所】18カ所

【配達回数】6回



<トカプチ情報ボックス>

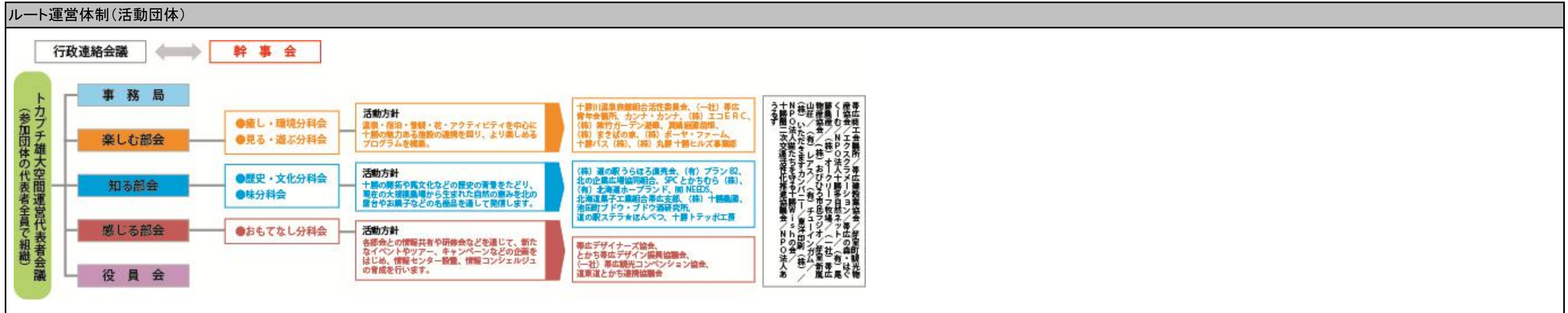


3. ルート運営活動計画の推進体制の状況及び課題

ルート名称: 十勝シーニックバイウェイ トカプチ雄大空間	報告者: 十勝シーニックバイウェイ トカプチ雄大空間 代表 野村 文吾	報告年月: 2014/3/31
------------------------------	-------------------------------------	-----------------

**活動団体**

十勝バス(株)、紫竹ガーデン遊華、真鍋庭園苗畑、北の起業広場協同組合、(有)プラン82、帯広デザイナーズ協会、とち帯広デザイン振興協議会、帯広建設業協会(広報情報化推進委員会)、カンナ、カンナ、NPO法人十勝多自然ネット、エクスクラメーション、帯広の森・はぐくむ、北海道菓子工業組合帯広支部、(一社)帯広観光コンベンション協会、池田町ブドウ・ブドウ酒研究所、十勝川温泉旅館組合活性化委員会、道東道とち帯広連携協議会、芽室町観光物産協会、帯広物産協会、(株)北海道ホープランド、(株)まきばの家、(有)ボーヤ・ファーム、(社)帯広青年会議所、帯広商工会議所、(株)オークリーフ牧場、(有)尾藤農産、(株)エコERC、おびひろ市民ラジオ(FM-WING)、十勝ヒルズ、SPCとち帯広、芽室町新嵐山荘、ステラ★ほんべつ道の駅、(有)チューインガム、(株)道の駅うらほろ直売会、(有)レアス、NPO法人あうるず、十勝トッコ工房、(有)NEEDS、十勝農園、いただきますカンパニー、東洋印刷(株)、NPO法人猫たちを守る十勝Wishの会、十勝圏二次交通活性化推進協議会



基本方針	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
ルート運営代表者会議	● 4/16												
事務局・幹事会 打合せ	原則、毎週水曜日に代表・事務局会議開催。(必要であれば月曜日および金曜日も開催。) 4月～3月まで26回開催。												
部会・役員会	●4/11 役員会												
3ルート連携会議		● 5/29							● 12/25				

ルート名称: 十勝シーニックバイウェイ トカプチ雄大空間	報告者: 帯広開発建設部	報告年月: 2014/3/31
------------------------------	--------------	-----------------

基本方針	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
行政連絡会議の実施			● 6/6			● 9/25	● 10/29						



4. ルート運営行政連絡会議の取組状況及び課題

ルート名称:十勝シーニックバイウェイ トカプチ雄大空間	報告者:帯広開発建設部	報告年月:2014/3/31
-----------------------------	-------------	----------------

	ルート(エリア)運営活動計画方針	平成25年度の活動内容	活動実施日	実施機関	成果及び課題	総括	活動No
景観	五感と感動で楽しむ場所を提供するため、美しい景観の発掘と、景観阻害要因となる看板の撤去等の整備、雄大な景観デッキの整備、年間を通して豊かな時間を過ごすカフェの整備を進める。また、十勝シーニックバイウェイ3ルートが連携し、巡る楽しみを創出する。	とちちイエローリボンプロジェクト	平成25年5月～9月	帯広開発建設部	ひまわり植栽に向けて実施箇所検討及び種植えに積極的に参加した。 地域の景観向上のため今後も継続して取り組めるよう検討を行う必要がある。	行政機関とルートが連携した取組を行うことにより効果がよりいっそう高くなっている。今後も行政とルートとの連携を強化しPRのため広域での取組を行っていく必要がある。	12
		人と未来をつなぐ100年の木プロジェクト	平成25年4月～平成26年3月	自治体 商工会 帯広開発建設部	植樹における植樹箇所及び道路占用許可申請の調整等を行った。また、植樹祭へ参加し本プロジェクトの活動についてPRすることができた。 植樹希望箇所は国道以外の場合もあることから、関係自治体等と連携して進めていく必要がある。		1
観光	道外、国外に対して、観光・食・アクティビティ・環境などの情報を、自信を持って発信できる地域づくりを行う。そのために、ホスピタリティを向上させ、組織・団体の活動を活性化させるなど、地域間競争に打ち勝つための情報共有や地域住民との連携強化による人づくり・街づくりを推進する。さらに、それらを生かした十勝型産業の開発を目指す。	十勝シーニックバイウェイPR活動	平成25年8月	帯広開発建設部	帯広空港ターミナルビル株式会社の協力を得て、十勝シーニックバイウェイの紹介、説明などのPRパネルの展示を行なった。空港での開催であるため、道外からの観光客が多く、十勝の魅力を発信する機会となった。 今後もイベント等でのPR活動を積極的に行っていきたい。		4

5. 平成24年度活動報告への助言に対する状況報告

ルート名称:十勝シーニックバイウエイ トカプチ雄大空間	報告者:十勝シーニックバイウエイ トカプチ雄大空間 代表 野村 文吾	報告年月:2014/3/31
-----------------------------	------------------------------------	----------------

平成24年度活動報告への助言	平成25年度 状況報告	備考
-----	-----	

ルート名称:十勝シーニックバイウエイ トカプチ雄大空間	報告者:帯広開発建設部	報告年月:2014/3/31
-----------------------------	-------------	----------------

平成24年度活動報告への助言	平成25年度 状況報告	備考
-----	-----	